



議会だより

News from the Assembly

2010
平成22年

10月25日発行

No.118

昭和56年8月1日
初版発行

- 発行...太良町議会編集委員会
- 〒849 1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6 TEL 0954 67 2151
- <http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>



竹の子の里議場訪問（8月12日）

平成22年度 一般会計（補正） 総額 55億 3千47万 5千円

議会会議録がインターネットで見られます。

太良町議会のホームページ <http://www.town.tara.saga.jp/gikai/>

にアクセスし会議録をクリックしてください。

9月定例議会

会期 9月10日～21日（12日間）

一般会計補正の主な事業

- ・ 岳の新太郎銅像除幕式典費 2百15万3千円
- ・ 農地等災害復旧費 7百40万円
- ・ さがの強い園芸農業確立対策事業費補助金 百44万円
- ・ その他補正総額 4千2百93万4千円

専決処分の承認

・ 太良町一般会計補正予算

（第三号）

道路等災害復旧事業費等の
 五百五十万四千円の増額
 補正総額は、五十四億七
 千六百五十四万八千円。

職員の給与に関する 条例の一部改正

町立太良病院の地方公営
 企業法全部適用に伴う職員
 の給与に関する条例の規定
 の整備。

給与の特別調整に 関する条例等を廃止

・ 町立太良病院の地方公営
 企業法全部適用に伴い、

給与の特別調整に係る
 条例
 ・ 給与の特別調整に関する
 条例
 ・ 職員の給食に関する条例
 ・ 職員の特殊勤務手当に関
 する条例

太良町税条例の一部 改正

税制改正により地方税法
 等の一部改正に伴うもの。
 扶養控除に関するもの
 ア、十六歳未満の扶養親
 族に係る扶養控除の額三十
 三万円を廃止。
 イ、十六歳以上十九歳未
 満の特定扶養親族に係る扶
 養控除の上乗せ部分の十二
 万円を廃止し、扶養控除の

財産の無償譲渡に ついて

額を三十三万円とし、十九
 歳以上二十三歳未満の特定
 扶養親族に係る扶養控除の
 額四十五万円及び二十三歳
 以上七十歳未満の扶養親族
 に係る扶養控除の額三十三
 万円については、現行どお
 り、平成二十四年度分以後
 の町民税について適用する。
 たばこ税に関するもの
 ア、旧三級品以外千本に
 つき三千二百九十八円を四
 千六百十八円。
 イ、旧三級品千本につき
 千五百六十四円を二千百九
 十円に平成二十二年十月一
 日から適用。

町道の一部廃止

大浦地区の国道から広域
 農道までの連絡道路の整備
 による路線整理のために津
 ノ浦・牛尾呂線の一部。

町道の認定

・ 道整備交付金事業により
 整備した大浦地区の国道
 から広域農道までの連絡
 道路延長一七二四・三
 メートルを津ノ浦線。

・路線の整理のために一部
十七万五千円。

**山林特別会計補正
(第一号)**

廃止した津ノ浦・牛尾呂
線の国道から平野・今里
線までの延長一一七
メートルを津ノ浦中央線

後期高齢者医療特別
会計補正予算(第一
号)

千円。
事費。
主な内容は、前年度繰越
金の額の確定と、過年度分
の保険料還付金を補正し、
歳入歳出共に百八万八千円
を追加し歳入歳出予算総額
をそれぞれ一億三百八万八千
円。

**町立太良病院事業会
計補正(第一号)**

主なものは、看護重症度
必要度のデータ化が必要に
なるため、システムの導入
に伴う九十万円の増額とメ
ディカルソーシャルワ
ーカー業務新設のため、嘱託
看護師増員に伴う二百九十
八万三千円の増額。

**平成二十二年
度一般
会計補正予算(第四
号)**

主なものは、さかの強い
園芸農業確立対策事業費補
助金百四十四万円、赤クラ
グ被害対策事業費補助金百
二十五万円、岳の新太郎銅
像除幕式典費二百十五万
三千円、片峰地区公民館整
備事業費補助金十四万八千
円、農地等災害復旧費七百
四十万円。

繰越金二百三十四万三千
円の増額補正と積立金百二
万円及び予備費百三十二万
三千円の追加。

**簡易水道特別会計補
正(第二号)**

繰越金百四十五万五千円
は、前年度繰越金の増額。

**老人保健特別会計補
正(第一号)**

主な内容は、過年度分の
国庫負担金の増額による追
加交付と前年度繰越金の額
の確定で、歳入歳出共に二
百三十二万八千円を追加し
歳入歳出予算総額それぞれ
五百三十二万八千円とする

**国民健康保険特別会
計補正予算(第二号)**

主な内容は、国庫負担金
等の額の決定と、国庫・県
費負担金の超過交付による
返還金等を補正し、歳入歳
出共に六千六十七万七千円
を減額し歳入歳出予算総額
それぞれ十八億千一百万四
千円。

**水道事業会計補正
(第二号)**

水道事業設備費三十六万
三千円の減額補正は、精算
による。

意見書採択

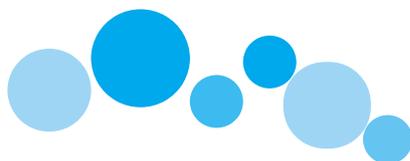
地方財政の充実・強化
を求める意見書。
米価下落への緊急対策
を求める意見書。

補正後の総額は、歳入歳
出それぞれ五十五億三千四
百四十万円。

補正後の総額は、歳入歳
出それぞれ五十五億三千四
百四十万円。

水道事業改良費百五十七
万六千円の増額は、請負工
事費。

新たな経済対策を求め
る意見書。





町長の進退について

坂口 久信 議員

一般質問

答 引き続き職責を担わせていただきたい。

議員 岩島町長の任期は来年の二月十七日の改選まであと五ヶ月となった、今後町政運営も十分考慮しておられると思うが、進退について町長の考えは。

町長 選挙公約の中で、融和と明るい町づくりをスローガンに掲げ、町長就任以来できる限り町民の方と直接触れ合い、生の声を聞き皆様は何を求めておられるか常に念頭に置き、町政に携わってきた。

一期四年の中で少子化対策、若者定住対策、町営火葬場建設子育て支援の充実、など一定の成果は果たしたと考えている。第一次産業の低迷、並びに少子高齢化の進展や、社会経済の低迷及び雇用環境の悪化などによって太良町の人口が毎年減少しているなど、今後の町政に影を落す部分が多く憂慮すべきと思っている。

又、町立太良病院公営企業法全部適用したことの影響や医師不足の問題、あるいは一次産業の振興と一体化させた商工観光業の伸展など今後の町政運営に重要な問題を抱えており、もし町民の御支持がえられるなら、これらの問題を実現することが町民や議会に対する私の責務と考え、引き続き職責を担わせていただきたいと思っております。

観光協会事務所移転について

町長は、太良町にとって観光産業は企業誘致が思うように進まない中、第一次産業である農林水産業に次ぐ重要な基幹産業の柱として位置づけられているが、観光産業を発展させ、また観光協会を一本立ちさせるためには今の事務所は大変手狭であり、不便でもあるので、町の入り口の二

〇七号線沿いの道の駅からの敷地内に、太良町の宣伝を含め移転はできないか、又、鹿島、嬉野観光協会並みとは言わないが、最低でも職員二名体制の運営ができるように町の力を貸してもらえないか。

町長 太良町にとって、観光は各種産業の振興と地域経済と雇用を支える重要な役割を担っており、太良町の地域経済を担うウエイトは高まりつつあり、こうした中、太良町観光協会が農林水産業、地場産業との連携をし、体験型観光などの新しい観光資源の創出や独自の収益事業等を構築され、太良町の観光振興に寄与するためには道の駅ならへの移転を計画、要望されることについては、町としても地域振興の観点から応分の支援をしたいと考えている。

ICT（情報通信技術）の利活用について

議員 ICT事業に対し国



答弁に立つ岩島町長

町長 今のところ、国、県はモデル事業のみである。しかし、町民の方がみずからの地区を、みずからの知恵と汗で地域づくりを行っていたたく事業については、町としても地域の活性化策として支援したいと考えている。

議員 学校教育にICTを導入しているがその成果は十分上がっているか。

教育長 ICTの環境整備として今回新規で小学校にパソコン百二台を購入、それから電子黒板を多良小・中、大浦小にそれぞれ四台、また大浦中には

三台と文科省の電子黒板調査研究校に指定されたので、七台を加えて十台配置して有効活用している。

ICTの活用は、児童・生徒の学習に役立つだけでなく先生の指導にも役立ち、学校の授業、補習、家庭学習、色々と使えるすぐれものである。今後土曜学習会の参加者だけでなく、すべての小・中学生に全部履歴ドリルを使わせて、学力向上を図っていきたい。



企業誘致について

議員 廣 所賀

答 誘致に関連する情報の収集に努めていきたい。

議員 企業誘致に関して、今後どのように進めていく考えか。

町長 企業誘致は、雇用の拡大や地域活性化の有効な手法として重要だと考える、しかしながら自治体における実態調査によれば、企業との間に、立地条件において考え方に相違点がある事が明らかである。

現在の景気動向の中で様々な要件を満たす市町村は限られており、経済的にもリスクが大きく、太良町にとってハードルが高いものと言わざるを得ない。

議員 重要なポイントになるのが交通アクセスの利便性と考えられるが、太良町においてはマイナス要因が多いと思われる、刑務所や社会復帰促進センターなどはその考え方が多少緩和されるのではないかと思う、このような施設の誘致をPFI方式と合わせて前向きに検討してはどうか。

の確保が最優先で、どうしてもしュクを負つての先行投資が必要となり太良町の財政規模では厳しいものと考えられるが、ただ町づくりを考える上で有効な手法である事から、誘致に関する情報の収集には積極的に努めていきたい。

議員 交通アクセスを見た時、高速道路に直結した道路網の整備を早急に鹿島市と一体になって整備を進めていく必要があると思うがどうか。

町長 近隣の市・町で結成された期成会の中で再度強く県・国へ要望していきたいと考える。

議員 将来においては地域主権、道州制という方向へ進んだ場合、単独での行政運営を選んだ太良町には強い体力と自主性が求められると思う、地元の人達が働ける場を一刻も早く確保するために何らかの方策・方針が重要な課題だと思うがどうか。

町長 農業等の法人化組織を奨励する中で雇用の場を作っていたら、アクセス道路も並行して考えながら企業側からの話があった場合、水等の問題も念頭に置きながら考えたい。

議員 山口県美祢市の促進センターは、堀や鉄格子のない刑務所で農園芸技術者の育成、高度なパソコン技術の習得が実施され食材や物資は地元で調達し地元の雇用の増大に貢献しているとある、太良にある物資の納入や働ける場の確保を考えた時さまざまな問題や条件が必要となる事は理解できるが是非前向きに考えてみてはどうか。

町長 確かにそういうふうな誘致をやれば当然人口も増え地場産品の食材も使っていたら大変ありがたい事だと思う、この件については町民皆様の御理解が得られれば区長会等でお話をしながら慎重に考えていきたい。

議員 PFI方式による民間企業の導入をインターネットを通じて公募という形で考えてはどうか。

企画商工課長 PFI導入については、国、法務省



美祢社会復帰促進センター（山口県）

てはどうか。

企画商工課長 新しい促進センター建設等につきましては内部的、外部的な面も含めて要望活動の例を見ながら研究をしていきたい。

が事業主体であり太良町が誘致してPFI方式を言い出す部分ではなく国が事業主体として建設、管理を行う方式である。
議員 福岡の矯正局が窓口となつて法務省に上がつていくと思われる、その流れと資金調達の面等を流れて含めて調査してみ



老人センター跡地利用について

下平 力人 議員

答 当分の間油津児童遊園地の駐車場として活用していく。

議員 公有地を見たとき制限がなく、終日駐車できる場所が少なく、日本古

来からの神社仏閣というものは、安心の場、いやしの場として来られるので、将来的には観光スポットにもなるのではないかと考える。

そうなれば、やはり駐車場がメインになってくるので、一か所ぐらいはそういったところを作つてはどうか。

町長 まず老人センター跡地については、神社仏閣の駐車場ではないと承知してもらいたい、いろいろな要望や買収等々の話があったら、その都度考えていきたい。

その時期が来るまで、当分の間周辺一帯を油津遊園地の駐車場として利

用していただきたい。

少子化対策について

議員 少子化対策は全国的な案件でもあり、決め手

が見いだせないまま月日が流れている気がするが、その中でも太良町はあきらめることなく、さまざまな対応策に取り組んでこられたと思うが、少子化対策事業としての実績はどんなものが。また、保育料の減額は考えられないか。

町長 少子化対策の一環となる事業は複数の課において実施している。

町民福祉課では、チャイルドシート購入補助事業、乳幼児医療費助成事業、保育所運営費委託事業、放課後事業健全育成事業など、毎年約四億円

の金額を投入している。

健康増進課では、中学生以下へのインフルエンザワクチン予防接種助成事業、乳幼児の歯科検診事業、栄養教室、妊婦検診事業などを実施、社会教育課では、放課後子ども教室推進事業の実施。企画商工課では、定住促進奨励金を支給する制度などさまざまな事業を実施しているが、毎年百人以上の人口減少が続き、出生数も減少傾向にある。

それでも、これらの各種事業の実施により人口減少に一定の歯止めになっていると考えている。また、保育料については国が定めている保育料よりも減額した保育料を設定し、保護者の負担軽減を図っている、保育料の更なる減額については、今後財政状況等を見ながら熟慮していきたい。

議員 子育て支援事業として各課で一生懸命取り組んでこられた結果として、いわゆる合計特殊出生率は他市町に比べ、太良町では二・一〇という成果を生んでおり、各課の努力に感謝したい。

保育料は一階層から八階層まであり、一子、二子、三子と負担が決められている、太良町には一子が二〇〇人ぐらいで、その三分の一が第二子である、第三子については国の施策により無料となっているので、第一子、第二子について、将来の人材育成のためにも負担軽減の検討を考えてはどうか。

町長 新年度事業あたりで、少子化対策の一環として、児童等々の手当については、幅広く何か対策をしなくてはならないと考えている。

議員 子どもたちの未来への投資だといふふうに思っていたら、町民の理解も得られると思うので、思い切った減額をぜひ、考えていただきたい。

町長 少子化対策は、国でも高校等の無料化などを

打ち出し、対策に取り組んでいるが、これは全国的な問題であり、幼児については、何らかの投資をして、対策をしていきたいと思っている。



老人センター跡地



高齢者問題を問う

平古場公子 議員

答 杵藤広域圏内の施設は充足している。

議員 今、全国で百歳以上

の高齢者の所在不明の方が日を増すごとにふえ続けているのに驚いている。これは社会全体の責任が問われる問題だと思いが、我が町の状況はどうか。

ある。

この一人暮らしの方は、人それぞれの生き方があると思うので、ミスのないようなサービスが必要だと思う。

現在特別養護老人ホームの待機者は何名か。

町民福祉課長 光風荘の待機者は五十名である。

この五十名の方は自宅で待機されているのか、又民間の施設で待つておられるのか。

町民福祉課長 通所サービスとか、そのほかの介護保険制度を利用されている方、自宅で療養されている方さまざまなと思うが実際にどうされているかは調べたことはない。

あるか。
町民福祉課長

十三施設ある。

特別養護老人ホームが高齢者の数に対して充分なのか。



老人ホームのイベント風景

町民福祉課長 施設は充足している。

決して施設が充足しているとは思えない、不自由な老人を抱え苦しんでいる人がどれだけおられるか町の方にも相談に來られると思うが。

町民福祉課長 太良町の特別養護老人ホームは杵藤管内でも一番少ない待機者数という認識をしている。

とにかく杵藤地区管内の介護保険の計画によって施設等も決められているので、ほかのサービス等も利用していただきたいと考えている。

特養からの連絡を待ち続けて四年、五年、民間の施設で待っている方が多数おられると思うが、どうしても費用の問題がネックになっている。

杵藤広域圏内でも三年に一度介護保険制度が見直されているが、どのように見直されているのか。

町民福祉課長 第四期介護保険事業計画ができあがっている。

その中では、特養関係みたいな施設は計画しない、小規模多機能型居宅介護とか、小さなグループホームのような施設を整備していこうとの方向になっている。

太良町も県内で二位を争う高齢化が進んでいるのにこれ以上特養ができないのであれば太良町なりの対応策が必要だと思いが町長の考えは、

国の施策等々で、杵藤地区広域圏内でも中学校区で一ヶ所とか、もろもろの縛りがあるので、小規模の居宅介護施設といつても人数が九名か十名で、到底間に合わないというところで、今後この問題については、町村会等々でも打ちだしてみたいと思っている。

町民の皆さんの声を良く聞いて何とか年金で足りるような施策を早急に考えてほしいと強く要望する。

町民福祉課長

本年九月一日現在で四百三十四名で

議員

杵藤広域圏内で特別養護老人ホームは何施設



法定外公共物の管理に関する条例の 施行状況と運用について

牟田 則雄 議員

答 条例により占用許可、占用料の徴収など適正に運用していく。

議員 占用許可の申請が必要な箇所、約千九百箇所の内訳は。

町長 占用料を徴収する箇所は、里道、水路の上に家屋や倉庫等が建てられている箇所、約百二十件であり、それ以外は免除とした。

議員 占用料の必要な箇所で占用料の総額は。

町長 総額は三十五万円程度になる見込である。

議員 業者で調査をした後、担当課で現地確認等はしたのか。

建設課長 調査のとき写真をすべて撮っており、写真で占用がわかる所は現地確認はしていないが、立合いの要請がある時は担当課が現地に赴き確認をしている。

議員 次の契約更新の時も今回と同様にされるのか、再確認をするのか。

建設課長 占用物件を撤去したとかの連絡があれば現地を確認し、その箇所については更新手続は不用と考えている。

議員 圃場整備地区で、申請が必要な箇所と、そう

でない箇所があるのはなぜか。

建設課長 通路の設置自体は圃場整備事業で設置していても申請は、同じ考えで取り扱っている。

議員 圃場への出入口は当然必要と認め竣工検査も行われた場所について、どうして必要なのか。

建設課長 基本的にはすべて道路から農地、農地から農地への通路については占用の対象となっている。

議員 公共事業で竣工検査を通っても、今後申請は全部必要とゆうのが基本的な考えか。

建設課長 その様に考えている。

議員 町に権限が移譲されているのであれば、公共工事等については今後、町長権限で免除していく考えはないか。

町長 今後は、意見の統一をしてみたいと考える。

議員 今年度区長会と議会との懇談会である区長さんから場所を指定して、水路の上に建物建っているのはなぜかとの質問

が、あつたが担当課長の考えはどうか。

建設課長 質問の場所には水路の上に家屋等が二件建っており、その建物は法定外公共物の譲与を受けける前に建てられており、本来は国有財産で県のほうに申請が必要だったと考える。

議員 私の知る限りでは、かわりの水路とか準備し、払い下げ申請等の指導をしているのではないか。

建設課長 相談があれば指導もしているが、今回の件については占用申請も出されていなく相談もなかったので町も把握していない。

議員 今回の申請にあたり、ある人は車庫の一部が里道にかかったと自主的に解体された方もおられるが、町は基本的にどうゆう姿勢でいくのか。

建設課長 申請の手続きの時、用途廃止が出来る分は用途廃止し払い下げ申請等の手続きをお願いし、できない所は占用料

を徴収するよう考えている。

議員 今後申請して町の許可を得たら、建物でも何でも認める認識でいいのか。

建設課長 権限の譲与を受けける前の建物については占用料を徴収し、今後そういう申請があつた場合は、許可はしない考えで

ある。

議員 権限の譲与の前と後では、町民に対して相当不公平感が生まれると思

うが。
建設課長 法定公共物の譲与の前は国有財産であり、許可権限は町にはなく、今後占用されるものは、この条例を適用していく。



圃場への出入口



行財政改革の基本姿勢を問う

末次 利男 議員

答 めり張りのある事務事業に取り組む。

議員 現在、右肩上がりの経済の終えんによる国・地方の危機的財政状況の中、人口減少・超高齢化社会等々多くの課題を抱えているが、将来安心した町政運営をするためには、体制整備が必要と思うが行財政改革の基本方針はどうか。

総務課長 行財政改革を進める上では当然組織改革は必要である。限られた人的資源で、サービ部門、支援部門の合理化を図り、柔軟な体制の中で常に見直したい。

議員 時代背景はあるにしても、旧来の考えや、ぬるま湯的意識を払拭した創意工夫が必要である。人口減少、少子高齢化は行財政運営上具体的にどのような影響があるのか。

財政課長 将来的に医療費や扶助費が大きくなり、増収が望めない事から財政的負担が増加する。

議員 平成十九年六月の財政健全化法の公布により、財政指標の公表が義務づけられたが、本町は良好な数値で運営されている。国の仕組みが、地域主権推進による一括交付金等々の将来見込みは、どのように考えているか。

財政課長 毎年新年度予算対応として、国・県の若干の情報に基づき五ヶ年の中期財政計画を立てている。

国の財政状況は、地方以上に疲弊しており不透明であるが、当然限られた予算で町民のご理解を得ながら予算規模等考えたい。

議員 指定管理者制度は、効率的な管理運営とサービスの向上充実を目的として、公共施設二十二ヶ所を民間契約しているが、その評価はどうか。

町長 効果的、効率的な管理運営が行われているか、良質なサービス提供がされているか、経費の削減

が図られているかが重要なポイントであり、毎年業務終了後に事業報告書

の提出を求めて、適正かつ確実にサービスが利用者へ提供されているか検証している。
議員 現在、火葬場が随意に委託されているが、来春のオープン時は見直すのか。
環境水道課長 新施設は規模が大きくなるので、現



行革に取り組む太良町役場

在の契約金額等見直す。
議員 町立太良病院が、一部財務適用から企業会計法の全部適用に経営形態が変更されたが、指定管理者制度の導入の考えはあるのか。
町長 改革委員会から条件付の諮問が提出されているので、もう少し状況を見たい。
議員 経営健全化に向けて頑張ってもらっているが、院長は期限付きか、骨を埋めるつもりか。

院長 当初四年間であったが、就任してからは骨を埋める覚悟で取り組んでいる。

議員 事務長として民間出身が就任されたが町立病院の素直な感想は。

事務長 スタッフ全員が、自分の病院だと思いう意識まではまだ達していない。意識改善に力を入れた組織改革に努力している。

議会の活動

7月～9月

8・12	8・6	8・5	8・4	8・6	8・2	7・31	7・30	7・27	7・23	7・22	7・21	7・16	7・15	7・9	7・7	7・3	7・2			
・竹の子の里参加児童議場視察 (多良小3年生)	・川原消防詰所落成式	・竹の子の里参加児童議場視察 (大浦小3年生)	・佐賀県町村議会議長会	・三ヶ研修	・市町村議会議員政策講座アカデ	・納涼夏祭り	・議会だより編集委員会	・佐賀西部政経セミナー	・議会だより編集委員会	・知事・市町議会議長懇話会	・国道207期成会・有明海沿岸 道路西部地区期成会	・有明海の再生を願う県民大会	・中山キャンプ場山開き式	・道建設促進期成会定期総会	・有明海沿岸道路、南西自動車 道建設促進期成会定期総会	・白浜海水浴場海開き式	・広域農道推進協議会役員会・総 会	・太良町青少年育成町民会議総会		
						9・22	9・19	9・17	9・15	9・14	9・10	9・7	9・1	8・31	8・30	8・29	8・27	8・16		
						・交通安全運動 30日まで	・多良小、大浦小運動会	・議員全員協議会	・本会議(議案審議)	・本会議(一般質問)	・議員全員協議会	・9月議会招集	・議会運営委員会	・山林運営委員会	・全議員研修会	・カニ供養	・太良町消防操法大会	・杵藤広域圏定例会	・消防団夏季点検	
																		8・17	8・26	
																			・鹿島藤津地区衛生施設組合定例 議会	・広域圏定例会勉強会



平成22年度前期(4月～9月分) 議長交際費の支出状況を公表します。

区分	支出日	支出金額(円)	支出の相手方、行事名
御祝	5月21日	5,000	自衛隊父兄会総会に際しての祝儀
	5月21日	5,000	防衛協会総会に際しての祝儀
	5月23日	5,000	鹿島ガタリンピック開催に伴う祝儀
	6月22日	5,000	竹崎カニ旅館組合総会に際しての祝儀
	6月27日	5,000	太良少年剣道クラブ30周年記念大会祝儀
	8月30日	5,000	カニ供養に際しての祝儀
会費	4月25日	10,000	原口一博総務大臣就任祝賀会会費
	5月17日	10,000	国会議員との懇談会会費(議長/副議長)
	6月7日	3,000	佐賀県内町議会臨時議長会会費
	7月27日	3,000	佐賀県知事との懇談会会費
合計	10件	56,000	



8月31日「グランドはがくれ」において、町村議会議員研修会が開催されました。

編集室より

昔のことは、「暑さ寒さも彼岸まで」と言われていましたが、近年にない異常猛暑で十月中旬になり、やっと、朝夕は凌ぎやすい日々になりました。
天高く馬肥る気候を迎え夏八テを一日も早く回復し元気な毎日を過ごしましよ
う。

温暖化により農産物・海産物共に出来が悪く、海苔の種付けも例年より遅れておりますが好収穫を祈念します。

次の定例議会は十二月上旬の予定です。

ぜひ傍聴にお出かけください。

編集委員会

委員長	木下 繁義
副委員長	見陣 泰幸
委員	牟田 則雄
	山口 則雄
	所賀 廣
	平古場 公子